

企画教育委員会記録

1 日 時 令和3年5月17日(月)
午後 2時03分 開会
午後 2時15分 閉会

2 場 所 第2委員会室

3 出席委員

委員長	小野辰夫	副委員長	白川 誉
委員	小野志保	委員	神野恭多
委員	河内優子	委員	高塚広義
委員	永易英寿	委員	藤田幸正
委員	近藤 司		

4 欠席委員

なし

5 説明のため出席した者

市長 石川 勝行

企画部

部長 亀井 利行 総括次長(財政課長) 木俣 浩毅

総合政策課長 加地 和弘

6 議会事務局職員出席者

議事課主任 越智 雅弘

7 本日の会議に付した事件

(1) 副委員長の選任及び委員席の決定

(2) 付託案件審査

議案第31号 令和3年度新居浜市一般会計補正予算(第2号)

8 会議の概要

○ 開 会 午後 2時03分

●小野委員長：<開会挨拶>

○越智議事課主任：<担当書記挨拶>

(1) 副委員長の選任及び委員席の決定

●小野委員長：これより副委員長の互選を行う。副委員長の互選は、指名推選により行いたいと思う。これに御異議ないか。

(異議なし)

●小野委員長：御異議なしと認め、副委員長に白川誉委員を指名する。ただいまの指名に御異議ないか。

(異議なし)

●小野委員長：御異議なしと認める。よって白川誉委員が副委員長に当選された。ただいま副委員長に当選された白川誉委員がここにおられるので、会議規則第127条の規定に基づき同規則第31条第2項を準用し本席から告知をする。副委員長に当選された白川誉委員から挨拶がある。

●白川副委員長：〈副委員長就任挨拶〉

●小野委員長：次に、委員席を決めたいと思う。委員席をどのようにするか。

●委員多数：現状どおり。[全員異議なし]

●小野委員長：それでは、委員席は現在の着席のとおりに決定する。

休憩 午後 2時05分／再開 午後 2時06分

○石川市長：〈挨拶〉

(2) 付託案件審査

○ 予算議案 (企画部その他関係者)

◇議案第31号 令和3年度新居浜市一般会計補正予算(第2号)

○木俣企画部総括次長(財政課長)：〈説明〉

〈質 疑〉

●神野委員：国や県、一般財源といった財源で歳入予算を組んでいるが、対象店舗数800件と、応援金支給見込み3,600件という想定の根拠はどうなっているか。

○木俣企画部総括次長(財政課長)：歳入に関して、歳出の営業時間短縮等協力金事業費については、協力金の事業費部分に対して80%を国が、残りの20%を県と市がそれぞれ半分ずつ負担するという取決めになっているため、その歳出額の80%が国庫支出金、10%が県、残りの10%が一般財源という考え方である。県・市町連携えひめ版事業者応援事業費については、2分の1ずつを県と市で負担することになっているため、それぞれ歳出の予算額に対する2分の1で歳入予算を計上している。

●神野委員：歳入の根拠が歳出であるということだったが、歳出の根拠である800件と3,600件について、この場で聞くことはできるのか。歳入の基準が歳出なのであれば、そこは聞けるのではないか。

○亀井企画部長：まず、時短協力に係る店舗数については、飲食店の営業許可届出店舗数が市内で892店舗あり、その約9割として算定している。県市連携の応援金については、経済センサスにおける飲食業の件数を参考に想定を行っている。

●神野委員：財政調整基金から繰り入れるということだが、今の基金残高を教えてください。

○木俣企画部総括次長(財政課長)：財政調整基金の残高については、3月末の決算見込み時点で24億円程度確保できる見込みとなっている。令和3年度当初予算及び補正予算にて取り崩す予定の財政調整基金が、10億7,700万円程度となっているため、予算上は残り14億円程度確保できるのではないかと考えている。

〈討 論〉 な し

〈採 決〉 全会一致 原案可決

○ 閉 会 午後 2時15分

企画教育委員会付託案件表

令和3年5月17日

○予算議案（企画部その他関係者）

議案第31号 令和3年度新居浜市一般会計補正予算（第2号）

第1表 歳入歳出予算補正中	ページ
歳入 全部	2・6・7